

田尻中

「四つ巴綱引き」団結強く



これがイチオシ SDGsテーマに演劇

田尻中学校は、大崎市田尻文化センターで行われた「おおさき万博」に参加しました。万博は、地球規模の課題に取り組む活動を通して、豊かなまちづくりを目指す目的があります。生徒会総務は、SDGs（持続可能な開発目標）をテーマにした演劇を披露しました。SDGsを身近に感じてもらうように、工夫しながら演じました。SDGsの17の目標を達成できるように、委員会活動を通してさまざまなことに挑戦していきます。

学校名 大崎市立田尻中学校
所在地 大崎市田尻沼部早稲田15
創立 1972年
電話 0229(39)0043
校長 三浦 美紀
生徒 205人

田尻中学校は、校庭が広く、設備も充実し、過ごしやすい学校です。私たちは、学校生活をさらに良くするために生徒一丸で取り組んでいることがあります。代表的なのが、「あいさつ運動」と「Tポラン（田尻ボランティア）」です。

あいさつ運動は、部活動ごとに分かれて昇降口で元気に声がけをします。Tポランは、部活動で担当を決めて、体育館や音楽室、昇降口を掃除します。どちらの活動も過ごしやすい環境を自分たちでつくっていくために、毎朝しっかりと行います。身も心もきれいな学校の維持に向けて頑張っています。

運動会では、生徒会種目「四つ巴綱引き」を行いました。2本の綱を用意し、4方向から綱を引っ張り合います。部活動対抗で白熱した熱い戦いが繰り広げられました。チームワークを確認でき、日々の活動に生かすことができました。

田尻中ではこれからも、学校生活をより充実させるために、生徒が主体となった取り組みを続けていきます。



運動会の生徒会種目「四つ巴綱引き」で団結力を競う生徒たち

編集委員 安藤和心、氏家優奈、富田悠斗、佐々木結愛、佐藤遥翔（3年）
安住琉生、松島こはく、眉見詩帆（2年）
指導教員 長田悠里

部活動対抗の熱い戦い

わが校わがまち スクール通信



今回は
あけの平小(富谷市)
雄勝中(石巻市)

地域と共に歩んで150周年

原町小

花壇整備や清掃で活気

原町小学校は、今年150周年を迎えます。学区内には「原町本通り」商店街があり、春祭りや「七夕まつり」でにぎわっています。しかし、新型コロナウイルスの影響で、元気がなくなったと感じました。私たちの力で盛り上げられないか考え、活動を始めました。スタートとして2年前、原町本通りの花壇整備に取り組みました。協力してくださる方がたくさんいて感動しました。すると、活動が地域のためになり、地域のために何かしたいと思うようになりました。

「さらに人との関わりを大事にしたい」と昨年、ごみ拾いスタンプリヤランタン作り、公園清掃などに取り組みました。商工会長さんや町内会長さんなどに力を貸していただきながら企画を実現できました。

この活動を通して、地域の方たちが快く協力してくれるのは、いつも原町小や地域を大事に思っているからだということに気がきました。もっと地域を明るく元気にできるのであれば、私たちは積極的に活動していきたいと思えました。



これがイチオシ 柿の木応援団 安全守る

原町小学校は、地域の方による支援チーム「柿の木応援団」にいつもお世話になっています。オレンジ色のユニホームが目印で、通学路や校内でその姿を見ない日はありません。横断歩道や校門に毎朝立ち、私たちの安全を見守ってくださっています。1年生の学習準備や給食のほか、野外活動のまき割りや火起こしなど学校行事のお手伝いをしてくれます。私たちが安心して学校生活を送れるのは、柿の木応援団の方々の「スーパーサポート」のおかげです。

学校名 仙台市立原町小学校
所在地 仙台市宮城野区原町2の6の1
創立 1873年
電話 022(257)0171
校長 川合 輝文
児童 535人



地域を明るくする活動に取り組む子どもたち。花壇整備(右上)、ごみ拾いスタンプリヤランタン作り(左上)、公園清掃(左下)

編集委員 田村 駿、西村知紘、深堀友那、藤嶋温真、伊藤健吾、藤沢夏海（3月卒業、中学1年）
指導教員 土屋尚子、伊藤壮汰、石田香奈（転任）